

「第3期菰野町子ども・子育て支援事業計画（中間案）」に対する意見公募の結果について

○意見提出者数 1名

○ 意見の概要と町の考え方は以下のとおりです。

該当項目	意見の概要	町の考え方
P49 ひとり親の支援	児童扶養手当の支給について 現在物価高騰のため、生活費がひとり親ではさらに厳しい状況です。米や野菜も値上がりする中でも、手当の支給金額はそのままなので、実質は、支給金額が半分以上になっているということになります。 今現在の支援がリアルタイムで届くことを願います。 ガソリン代や光熱費補助、物価高騰に対する補助をご検討お願いします。 また、ひとり親に限らず、両親などを頼れない場合は、仕事をするにあたってファミリーサポートセンターやベビーシッターといったサポートは必須です。しかし、経済的にもひとり親では厳しいという中でなんとかやっているというのが現状です。 東京など他の地域ではひとり親へのベビーシッター補助などがあります。 ぜひ菰野町でもご検討いただきたいです。	児童扶養手当については、消費者物価指数の変動に合わせて手当額が毎年見直されているところですが、ひとり親世帯におけるこどもの貧困率の高さ等も調査により明らかになっているところです。さらに急激な物価高騰に収入の底上げが追いついていない状況にあることから、当町では国の臨時交付金を活用した給付事業等を随時実施しておりますが、子育て家庭の生活の安定と自立支援のための制度の充実について検討していきたいと考えております。